

医道審議会
医師分科会医師臨床研修部会

精神科七者懇談会
「卒後研修問題委員会」

小島卓也
関 健

平成19年5月25日
於 厚生労働省

精神科七者懇談会

(社)日本精神神経学会
精神医学講座担当者会議
(社)日本精神科病院協会
国立精神医療施設長協議会
(社)全国自治体病院協議会
(社)日本精神神経科診療所協会
日本総合病院精神医学会

精神科七者懇談会の取り組み

1. 精神科研修のアウトカム評価
2. 精神科臨床研修指導医の養成
3. 厚労省臨床研修指導ガイドラインの執筆
4. ビデオ教材の作成

3

精神科アウトカム評価(1)

精神科七者懇談会 卒後研修問題委員会

- 基本研修アンケート
– 平成18年6-8月
- 精神科研修アンケート
– 平成18年9-11月

4

基本研修アンケート

817の研修指定病院あてに9495通を発送。

399通を回収、有効回答396名を対象。

平成16年度初期研修医7372名の5.4%にあたる。

回答者属性

1. 初期研修先について:

大学病院 44%

臨床研修病院 55%

2. 後期研修先: 大学 49.7%。

5

基本研修アンケート

臨床研修の到達目標

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 患者-医師関係 | (2) チーム医療 |
| (3) 問題対応能力 | (4) 安全管理 |
| (5) 症例呈示 | (6) 医療の社会性 |

経験目標

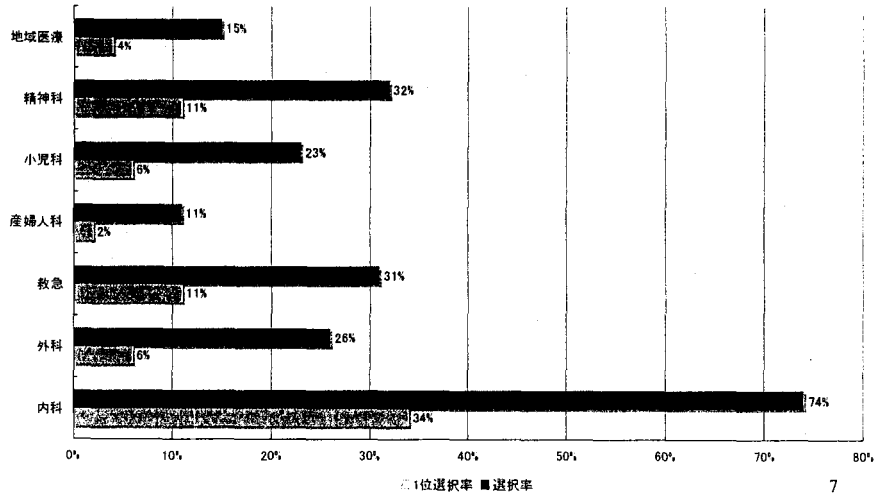
(7) 医療面接

上記基本研修七項目について、「もっともよく学べた」「比較的よく学べた」科を内科、外科、救急、産婦人科、小児科、精神科、地域医療の中から選択させた。

6

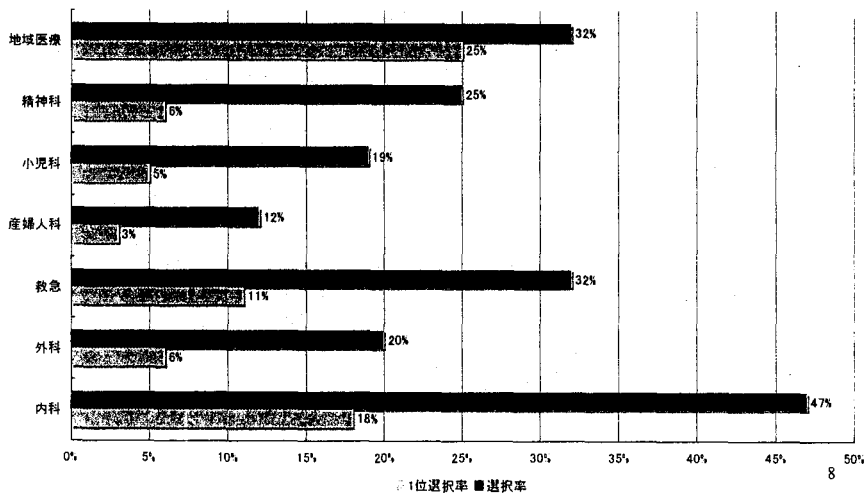
医療面接

医療面接をよく学べた科(%)n=396



医療の社会性

医療の社会性をよく学べた科(%)n=396



精神科研修アンケート

327の研修指定病院あてに6053通を発送。

802通を回収し、802名を対象。

平成16年度初期研修医7,372名の10.9%にあたる。

回答者属性

1. 初期研修先について:

大学病院 53%

臨床研修病院 47%

2. 後期研修先(現在): 大学が51%。

9

精神科研修アンケート

精神科研修の目標22項目について

「そうだ」「大体そうだ」「どちらかといえばそうだ」

「どちらかといえばそうでない」「ほとんどそうでない」

「そうでない」の6件法で選択させた。

精神科研修の有用度、満足度についても評価させ、

それにかんするフリーコメントを記入させた。

10

研修の時期・期間

ほとんど2年目に行われた(93%)。

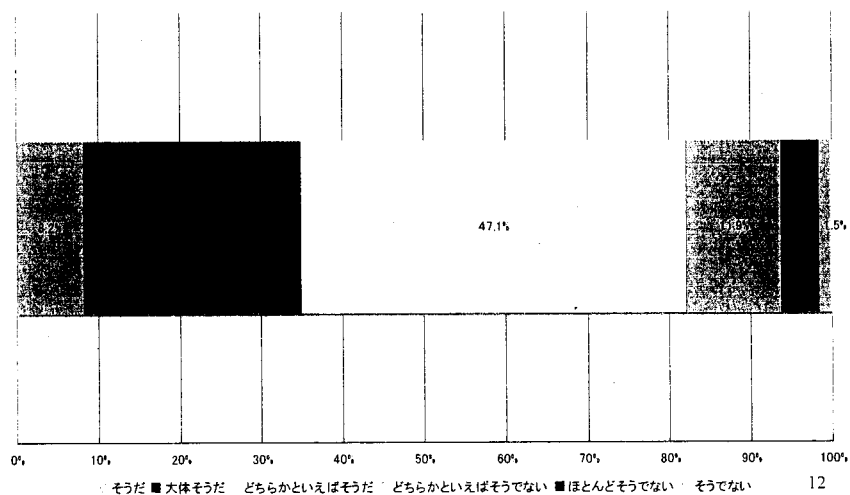
研修期間はほとんどが4週間(1ヶ月)(72.4%)。

6週間ないし2ヶ月研修する者が22.3%。

11

患者の訴えへの真摯な対応

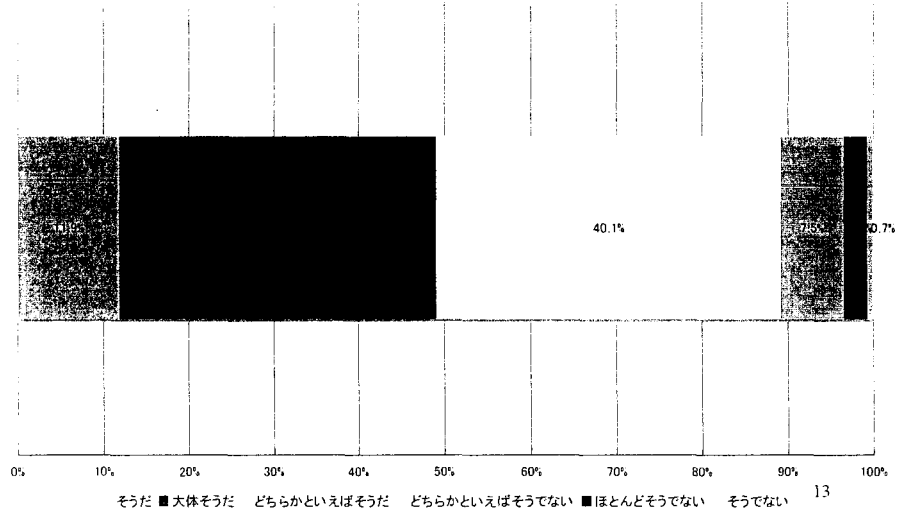
患者の訴えを邪険に扱わず、すべて受け止める習慣は身につきましたかn=792



12

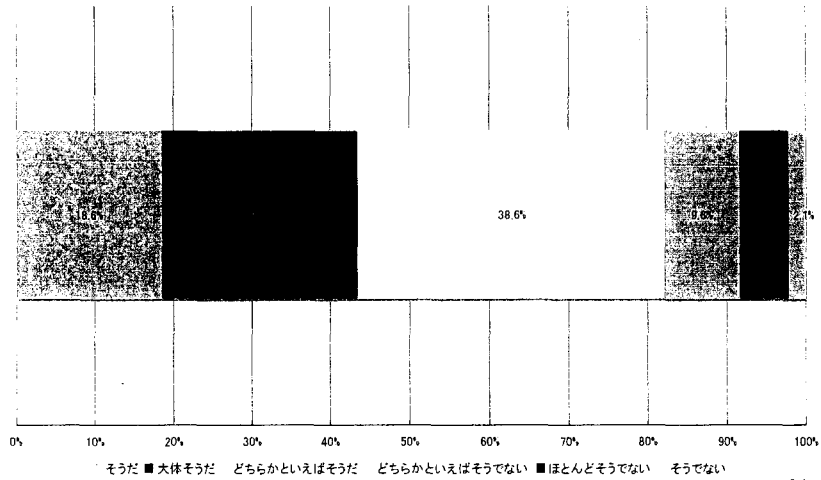
精神障害および精神障害者への正しい理解

精神障害や精神障害者への正しい理解は深まりましたかn=801



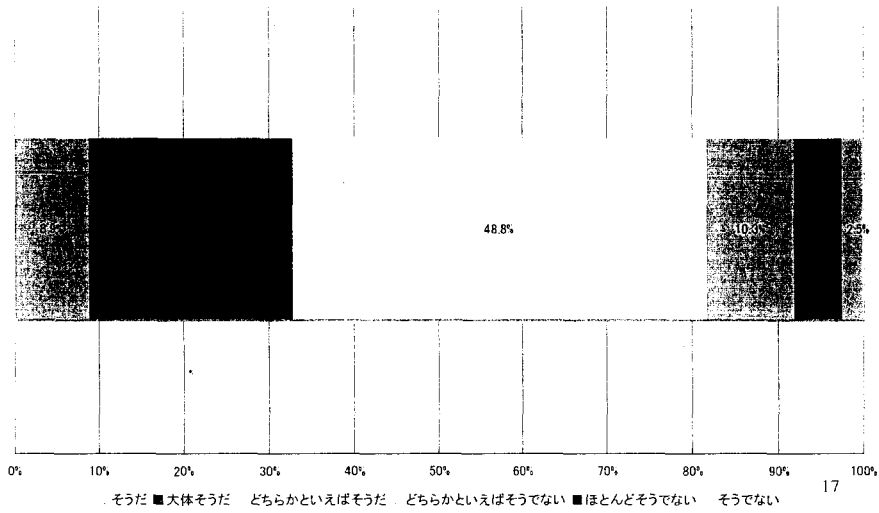
全人的医療の修得への効果

精神科研修は全人的医療の修得に役立ちましたかn=601



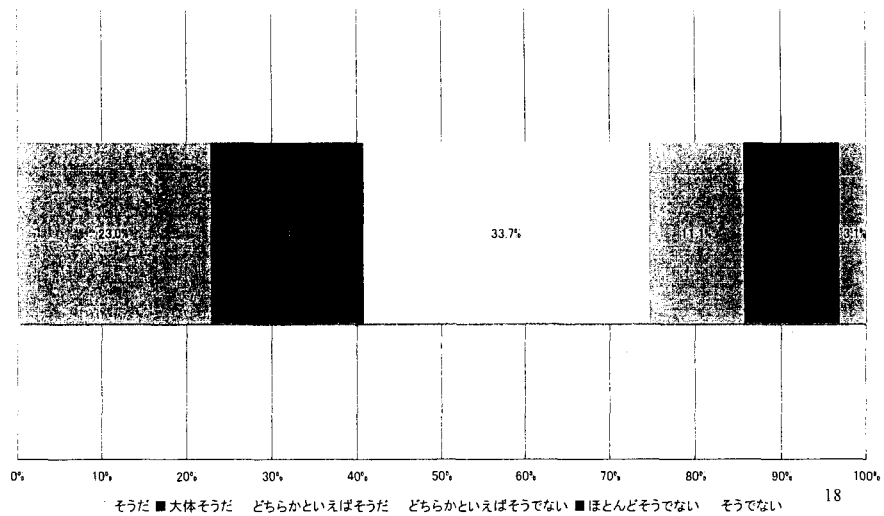
コンサルテーション・リエゾン精神医学の実践

精神科に遅滞なくコンサルテーションし、連携して治療にあたるようになりましたかn=789



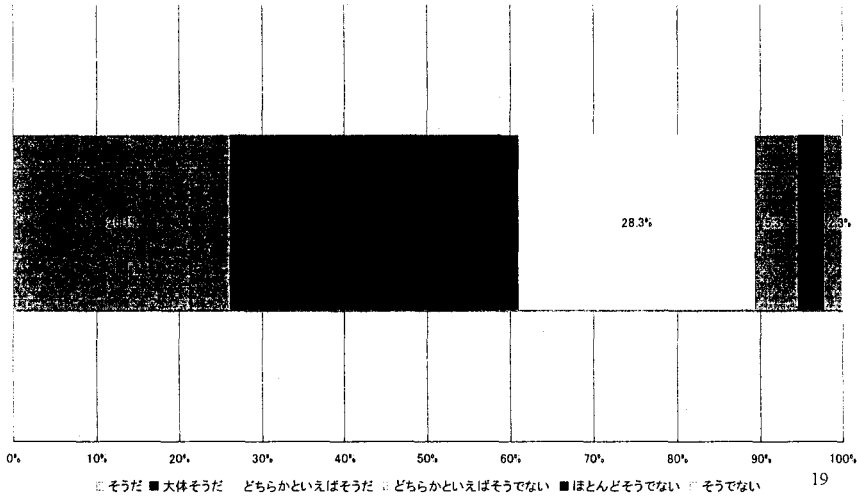
チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションの経験

チーム医療・社会復帰活動・地域リハビリテーションの経験ができましたかn=801



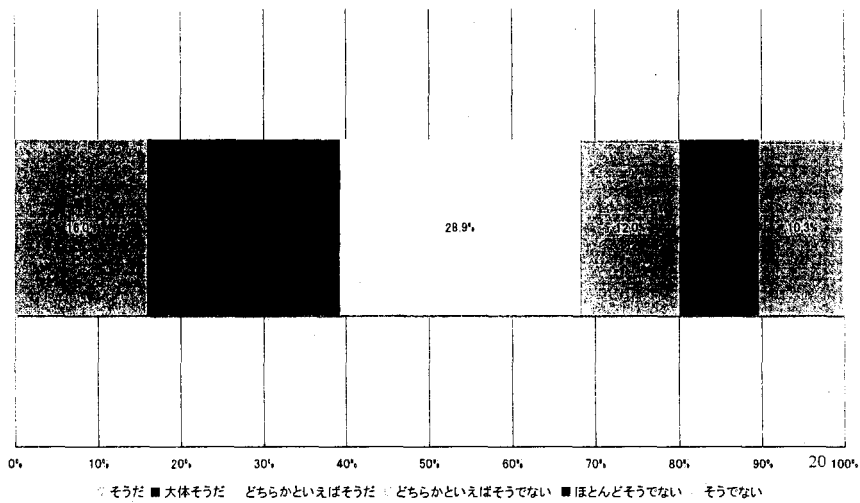
精神科指導医(精神科研修中の指導)

精神科指導医はよい指導者でしたかn=792



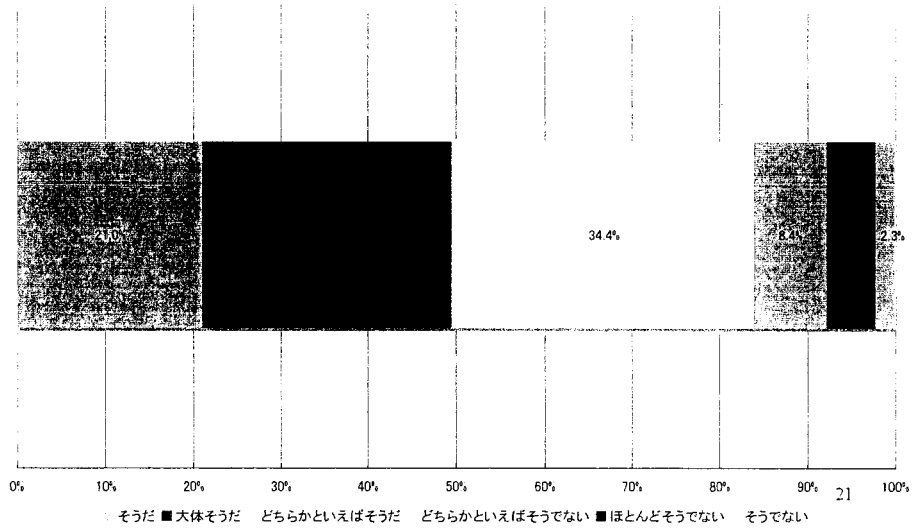
精神科指導医(精神科研修以外のサポート)

精神科指導医は他科の研修中でも助けになってくれましたかn=786



精神科研修の有用度

総じて精神科研修はあなたの役に立っていますか n=790



精神科研修アンケートのまとめ

- 精神科プライマリケアの習得
- 精神科との連携
- 患者の訴えへの真摯な対応
- 精神障害および精神症状への偏見の除去
- 全人的医療の修得への効果
- 精神科指導医に対する評価
- 精神科研修の有用度